

令和2年度 第2回高知支部評議会 議事録

開催日時 令和2年9月17日(木) 15:00~17:00

開催場所 高知会館4階「やまもも」

出席者 被保険者代表 折田評議員、島内評議員、入福評議員
事業主代表 古谷評議員、亀井評議員
学識経験者 遠山評議員(議長)、中川評議員、西森評議員

議題 令和3年度支部保険者機能強化予算の策定に向けて

事務局より、資料「令和3年度支部保険者機能強化予算の策定に向けて」に沿って説明。

(被保険者代表)

コロナ禍による受診控え等により、医療機関の経営環境が厳しくなるなど、医療の状況が変わってきている。協会はどのように対応しているのか。

(事務局)

各種事業は現在、三密防止等の感染予防対策を取りつつ、支部ごとに適宜状況を判断しながら実施している。

(被保険者代表)

健診を受けないことのデメリットが今後大きく出てくるのでは。例えば、重症化している糖尿病の患者がコロナを恐れて受診を控えるといった状況は、デメリットのほうが大きいように感じる。コロナ禍においても、ぜひ健診受診勧奨や医療機関への受診勧奨を行っていただきたい。

(事務局)

コロナ禍で出来る施策を常に考え、各種勧奨を行っていく。

(学識経験者)

ジェネリック医薬品の使用促進に関して、使用率が低い10~14歳の働きかけを行っていききたいとのことであるが、傾向としては、高知支部の年齢階級別の

使用率は、全国とあまり差異がない。全国差でみると、特に差が開いている 0～4 歳に注視すべきであると考え。また、糖尿病薬自主回収のニュースに関し、「糖尿病薬自主回収」でネット検索すると、「糖尿病薬自主回収」または「ジェネリックの糖尿病薬自主回収」とタイトル表示されていたが、「ジェネリックの」とタイトル表示しているものが多くみられた。ジェネリック医薬品使用促進の広告では、先発医薬品と同等の安心・安全を謳っているが、こう言ったネガティブなニュースをみると、先発医薬品においても自主回収が起きている状況ではあるものの、「安い医薬品を使った結果やっぱり悪い結果が出た」「せめて高価な医薬品を使っておけばよかった」といった気持ちが働くと思う。

（事務局）

全国差でみると 20 歳未満で開きが大きく、伸びしろという点で、若年者層に訴求していきたいと考える。また、ジェネリック医薬品の有効成分は先発医薬品と同一であり、先発医薬品と異なる添加剤を使用する場合であっても問題ないとされている。ジェネリック医薬品の品質と安全性は国が保証しており、薬害が出たときの対応も先発医薬品と同様である。

（事業主代表）

四国のジェネリック医薬品使用率はなぜ低いのか、県民性の問題なのか、県民の声を聴くなど原因を調査したことはあるのか。

（事務局）

数年前に徳島支部が行った調査研究事業では、使用率の低い徳島支部と使用率の高い鹿児島支部の加入者にそれぞれアンケート調査を実施し、結果、県民の意識にはほとんど差がないとの結論に達している。医師の意向や経営上の判断、流通の問題など、総合的に様々な要素が絡み合っているうえ、広い面積の中に診療所が点在し門前の薬局が少ない高知県では、院内で薬を処方する必要もあり、そのような場合は、先発医薬品と後発医薬品の二重在庫を揃える余裕もなく、ある程度使い慣れた先発医薬品を使用する傾向がある。

（事業主代表）

若年層の使用割合が低い原因の解明は難しいと思うが、若年層の使用割合が低いという意識を常にもって、ジェネリック医薬品の使用促進に取り組んでいきたい。全体的にみると親を交えての取り組みが必要であると考え。

（事務局）

子育て支援の観点から、高知市では小学校を卒業するまで自治体が医療費を負担し、高知市外では中学校を卒業するまで医療費を負担する自治体もある。高知県内の各保険者が集まって構成する保険者協議会の場にて「各市町村役場の子育て支援課や国保係へのジェネリック医薬品パンフレット設置」について提案し可決されたため、今後、各市町村役場へ、働きかけを行うこととなっている。

（学識経験者）

パンフレットは出来上がっているのか。

（事務局）

日本ジェネリック製薬協会作成のパンフレットを 2,500 部設置予定である。

（学識経験者）

「ジェネリック」という言葉を一般の方は認識しているのか。

（事務局）

毎年 10 月に、加入者が協会の事業をどれだけ理解しているのか本部で調査を行っており、ジェネリック医薬品の認知率は、すでに 8 割を超えている。

（学識経験者）

ジェネリック医薬品が先発医薬品と同じ有効成分であり、かつ安価であることの認知度が 8 割を超えているのであれば、現在、高知支部が実施している広告は意味があるものと思う。ただ、なぜ「ジェネリック」とカタカナを使うのか。日本語であれば、もっと浸透するのではないか。

（事務局）

先発・後発という呼び方は、誤解を与え兼ねない。諸外国では「一般的な薬」という意味合いで「ジェネリック」と呼ばれており、世界共通の呼称である。

（学識経験者）

そもそもどうしてジェネリックを浸透させるかということ、保険料や医療費の問題があるからであって、数量ベースではなく、金額ベースでアピールしたほうが良いのではないか。数量ベースでは外皮用薬が低率であるが、化学療法剤で全国と差がついていることのほうが問題は大きいのではないか。

（事務局）

協会けんぽ設立当初は、数量ベースと金額ベースを示していたが、国が掲げている数量ベースでの目標が定着していることを踏まえ、数量ベースで普及促進を目指している。

（学識経験者）

ジェネリック医薬品と先発医薬品に薬価の差がなければ、どちらを使用しようと医療費適正化の観点でいえば問題ないわけであって、問題は、薬価差があるところでジェネリック医薬品を使用促進する必要がある。それはどこの分野のどのような薬なのか、何歳くらいの方が使う薬なのかなど、狙い撃ちするターゲットを確認し、広報をどこに訴えるかを考える必要があるのでは。医療費の抑制を考えるなら、薬価差があるところで使用促進するほうが、医療保険財源の長期的な運用に貢献すると考える。

（事務局）

医療費の抑制を目的とするのであれば、当然、金額ベースで考える必要もある。その一つの事業として、協会けんぽではジェネリック医薬品の軽減額通知事業を行っている。

（学識経験者）

啓発という意味では、若年期からジェネリック医薬品に慣れれば抵抗感は薄れるであろうし、併せて、金額ベースでの使用促進も検討する必要があると考える。

（事務局）

同じ治療効果であれば安いほうを選ぶという意識を広げ、医療保険制度を持続可能なものにしていく必要がある。ドラッグストアで購入できるスイッチ OTC 医薬品について、現在は湿布や風邪薬なども保険適応だが、今後は保険適応外になり、個人がドラッグストアなどで購入するようになる可能性がある。ジェネリック医薬品の考え方も同じで、効率的な医療財源をどう使うかという意識をもってもらうために分かりやすい題目。そのためなおさら周知や理解を広げる必要がある。

（学識経験者）

薬の自主回収率が後発医薬品と先発医薬品とでどれほど違うのか。そういった数字はあるのか。

（事務局）

公表されていない。

（学識経験者）

鹿児島と徳島で県民の意識にあまり差がなかったということは、供給側である医療機関への働きかけに力を注ぐべきかと考える。

（事務局）

今年の6月から医療機関や調剤薬局を訪問して、ジェネリック医薬品を使っていただくようお願いしている。すでに100以上訪問しており、なかには特定の薬について切り替えを約束してくれたり、前向きな返事をいただけたりする医師がいる一方、難色を示す医師もいるが、医療機関への働きかけにも力を注いでいる。

（事業主代表）

先日、ジェネリック医薬品の使用促進チラシを健康保険委員あてに送っていたが、いろんなところで広報活動しても、細かい文字が羅列すると非常に見づらい。また、近年では、新聞を取っていない世代も多く、そういった中で、必ず目を通す給与明細書にジェネリック医薬品の使用促進チラシ同封していただくよう、企業に依頼するもの効果的な広報手段の一つであると考えます。

（事務局）

貴重なご意見として、参考にしたい。

（学識経験者）

ジェネリック医薬品の広告原稿において、安全・安心・低価格の文字を、もっと大きく目につくようにしてはどうか。

（事業主代表）

世界的にはジェネリック医薬品の使用が一般的だとか、そういった文言を載せることは可能か。

（事務局）

可能である。次回、作成する際に検討したい。

（学識経験者）

調剤薬局でジェネリックに抵抗しているような薬局はあるか。

（事務局）

医師のなかには否定的な方もいるが、調剤薬局では聞いたことがない。

（被保険者代表）

ジェネリック医薬品の認知度が 8 割を超えているといわれていたが、そんなに認知度が高いという実感はない。

（事務局）

昨年度の理解度調査では「ジェネリック医薬品は先発医薬品と効き目や安全性が同等であると国が認可した薬であること」の認知率が、2018 年が 61.6% だったのに対し、2019 年には 83.4% まで上がっている。また「ジェネリック医薬品は先発医薬品と比べ 3 割から 5 割程度、薬代が安くなること」については、2018 年が 62.9% だったのに対し、2019 年が 85.2% まで上がっている。当然、協会だけが広報しているのではなく、県や製薬会社等も積極的に広報していることで認知度が上がっていると考えている。

連絡事項について

次回評議会は、令和 2 年 10 月 29 日に開催予定。